

「骨太のリーダーを育成する高校生のための埼玉版リベラルアーツ事業」

## 平成 28 年度実施報告書

埼玉県立熊谷女子高等学校

### 1 学校の現状と課題

#### <現状>

本校は創立105年目を迎え、県北の伝統ある女子校として地域の期待は大きい。「高い志を持った次代を担う女性の育成」を重点目標の一つに掲げ、リーダー育成・進学指導重点推進校、SSH指定校、未来を拓く「学び」プロジェクト研究開発校として様々な取組を進めてきた。

進学校であるが、勉強だけでなく部活動や委員会活動、生徒会活動、学校行事に積極的に取り組む意欲の高い生徒が多い。地域の高齢者施設や小学校、保育所等を訪問し福祉活動や児童支援を行ったり、ニュージャーランド<sup>®</sup> 姉妹校との交流事業を行ったりもしている。地域や他校生徒との交流をとおして自らの生き方やあり方を見つめたり、リーダーとしての自覚を高めたりするなど、大きく成長していくきっかけとなっている。

#### <課題>

- ・教育活動全般を通じて、社会に貢献できる人間として、より高い志や使命感を育成すること。
- ・生徒一人一人の第一志望の進路を実現させ、難関大学を含む大学進学実績を向上させること。

### 2 本校における27年度までの取組及びその成果と課題についての概要

#### (1) 教育実習生との懇談会の実施

身近な先輩から高校生活や合格体験談などを具体的に聞いたり、質問したりすることにより、生徒の進路意識の高揚につながった。

#### (2) 夏季6期集中補習の実施

センター試験対策や難関国立大学二次対策、私大対策など、生徒のニーズに対応した集中的な夏期補習を実施した。学力向上委員会が主導し、原則、1講座90分×5日間を3年は約35講座、1・2年は約20講座実施した。

#### (3) 東大バスツアー・難関大学合同勉強合宿の実施

北部5校（熊谷・熊谷女子・熊谷西・秩父・本庄高校）が連携し、東大における研修、熊谷市内のホテルにおける2泊3日の勉強合宿を実施した。東大の研究室見学や他校生徒と合同勉強合宿を行うことで、大きな刺激となった。

#### (4) 授業公開及び授業研究協議会の実施

本校を中心に、北部5校教科力向上研修会・進学講演会・英語研究会を実施し、教員の指導力向上に努めた。一部の教科だけでなく、できる限り多くの教科で授業研究を深めていく必要がある。

#### (5) 大学模擬授業

大学教授等を招き、2年生全員が約20講座に分かれ、模擬授業を体験した。

(H27:20講義、H26:20講義、H25:21講義)

アンケートの結果(経年変化)は、次のとおりである。

◇質問「講義をとおして学問や大学進学に向けた意識・意欲は高まりましたか。」

回答「非常に高まった」 → H27:63.3%、H26:56.6%、H25:40.0%

「高まった」 → H27:32.8%、H26:34.2%、H25:41.2%

### (6) 英語多読指導支援事業

平成20年度から渡り廊下に「英語多読コーナー」を設置した。現有数は1,000冊余りで、貸出しは生徒の自主管理に任せている。新出単語が少なくストレスなく読み進められるレベルを中心に揃えている。このレベルの英文に数多く触れることにより、生徒が英文に徐々に慣れていき、難易度の高い英文へと移行しやすくなると考えている。また、多読教材は、英語は平易でも、内容は多種多様で生徒の興味を引くものが多い。さらにCD付きブックの貸出もしており、生徒には好評である。年間延べ500冊程度の貸出数になっている。

## 3 本年度(28年度)の実践

### 1) リーダー育成、学力向上に向け、外部人材を活用した講義・講演等の実践

#### ア 講義・講演等のねらい

第一線で活躍している社会人講師の話をお聴きすることによって、社会を知り、将来自分の就きたい職業について考える。また、これらの課題実現に向けて努力する態度や、学問や大学進学に向けた意識の向上を図る。

#### イ 講義・講演等の概要

##### ①キャリア教育

期 日 平成28年11月7日(月)

対 象 1年生全員

講演時間 14:30~15:30

講 師 ・あさひ法律事務所 弁護士

・清水建設株式会社 土木技術本部 基盤技術部 主査

##### ②大学模擬授業

期 日 平成28年11月21日(月)

対 象 2年生全員

講義時間 14:25~15:25

講 師 各大学の教授等20名(20講座を開講)

##### ③進路特別講演会

期 日 平成29年3月22日(水)

対 象 1・2年生全員

講演時間 10:10~11:40

講 師 イェール大学名誉教授(経済学博士)

#### ウ 生徒の様子(アンケート結果等)

キャリア教育、大学模擬授業では、9割を超える生徒が「有意義であった」「進路に対する意識が高まった」と回答している。

### ＜一例＞「キャリア教育」のアンケート結果より（1年358名の回答）

#### ◇質問1 「講義は有意義でしたか」

→ 回答「たいへん有意義であった」「有意義であった」98.9%

#### ◇質問2 「この行事をとおして、学問や大学進学への意識・意欲は高まりましたか」

→ 回答「たいへん高まった」「高まった」96.7%

#### ◇質問3 「この行事は、将来を考えるきっかけとなりましたか」

→ 回答「非常になった」「なった」95.6%

### ＜一例＞「キャリア教育」の感想（抜粋）

- ・ 弁護士の仕事のイメージは、歩きながら証人尋問するものでしたが、華やかなだけではないのだとわかりました。
- ・ 「焦らなくても大丈夫」という言葉が私の背中を押してくれました。これからは自分の決めた道を行きたいと思います。
- ・ 先生のお話を聞いて、多少回り道をし、様々な経験をして密度の濃い人生となるようにしたいと思います。
- ・ 弁護士の職業を選んだのは「一人の人間として自立したかったから」という言葉に私は心を打たれました。
- ・ 女性の昔から今までの労働条件の変化（賃金や産休、育休など）を知ることができました。そして将来の漠然としたイメージだけでも持ち、そこに向かっていくことが大切だということも分かりました。家庭を持ちながらもしっかりと社会で活躍できるような女性になりたいです。
- ・ 時間の使い方について、スコラ手帳やノートを使うやり方は今すぐにでもやれる技だと思ったので、活用してみたいと思いました。
- ・ 私も理系に進みたいと思っていたのですが、どんな仕事があるのか知らなかったので、大変参考になりました。土木という言葉は聞いたことはありましたが、その仕事がどんな時に役立つのか等、詳しい話を聞けてうれしかったです。

## 2) 県主催の事業に参加した生徒による報告会等学校全体への波及の取組についての実践

### ア 報告会等のねらい

個人の経験を学校全体に伝える機会をつくることにより、

①発表者の思考力やプレゼンテーション力を高める機会とする。

②情報や体験を共有することにより、発表を聞く生徒の志をより高める機会とする。

### イ 報告会等の概要

#### ①「高校生のためのアスペン古典セミナー」 in 埼玉

・ 参加日 平成28年8月8日(月)・10日(水)・12日(金)

・ 報告日 平成28年9月1日(木)

・ 発表者 参加生徒2名(2年)

・ 発表形態 体育館において、全校生徒を対象に発表

・ 発表内容 古典セミナーの内容や印象に残ったこと等についての体験報告

## ②東日本大震災被災地訪問

- ・参加日 平成28年10月8日(土)
- ・報告日 平成28年12月22日(木)
- ・発表者 参加生徒のうち2名(1年)
- ・発表形態 体育館において、全校生徒を対象に発表
- ・発表内容 いわき市久之浜地区の復興の現状や福島県立ふたば未来学園高校訪問等についての体験報告

## ③県立高校海外派遣プログラム

- ・派遣期間 平成28年11月2日(水)～11月11日(金)
- ・報告日 平成28年11月28日(月)
- ・発表者 参加生徒3名(2年)
- ・発表形態 体育館において、全校生徒を対象に発表
- ・発表内容 アメリカのハーバード大学、マサチューセッツ工科大学等へ短期派遣されたことについての体験報告

## ウ 生徒の様子(アンケート結果等)

それぞれのプログラムに参加した生徒は、その誰もが「体験をとおして価値観や人生観が大きく変わった」と述べている。

### <一例>「高校生のためのアスペン古典セミナー」に参加した生徒の感想(抜粋)

- ・本当に楽しかったし、名残惜しい。もっと話し合いをしたかったし、もっと色々な本を読んでみたい。心からそう思います。貴重な有意義な時間でした。たった3回でこんなに自分の中の価値観、人生観、その他・・・が目まぐるしく変わるとは思いませんでした。本当にありがとうございます。
- ・作品をよく知らない私たちが、初めて作品や著者と触れ合って自分の考えを持つという貴重な体験でした。「知的好奇心」の固まりのようなこのセミナーに参加できてよかったです。素晴らしい体験をさせて頂きました。
- ・多くの企業の方、団体の方のご支援があってこそ、こんなにも素晴らしい会に参加することができました。心より御礼申し上げます。

## 3) 遠県視察(秋田県訪問)について

### ア 報告会等の概要

平成28年11月17日(木)の職員会議において、参加教員3名から視察した大学・高校や全体をとおしての感想等を報告した。

### イ 視察を踏まえた指導改善の取組または見通し

参加した国語・数学・英語の教員が、職員会議で報告し全職員で先進的な取組の実践について情報共有すると共に、各教科で具体的な報告を行い、今後の指導改善・授業改善に取り組んでいく。

### <指導改善・授業改善の視点>

- ・学校挙げてアクティブラーニングに取り組む中で、「今、私たちの考えるAL」が定義されている。3校とも、指導する側が理念を共有して取り組んでいる。

- ・生徒の発表に対する教師の聞き返し・言い直し方が、答えの真意をくみ取っており、感銘を受けた。また、ICTを音読・語彙の定着に活用していた。
- ・生徒の考えの共有の方法として、iPadで生徒の解答を撮ってスクリーンに写し、生徒に発表させる方法が印象に残った。
- ・自分の意見を考え、相手に伝える・発表するという機会が必要であると改めて気付いた。一人で考える時間は一見静かなように見えるが、アウトプットするための準備であると考えれば、これもアクティブラーニングである。受け身ではなく、生徒が自分から「学びたい」と思えるような環境を作り出すことが教師の役目である。

#### 4) 学校において事業5年間を見据えた組織的な進路指導体制を構築する取組について

東京大学を初めとする多くの国公立大学のアドミッションポリシーや、センター試験に代わって平成32年度の3年生から実施予定の「大学入学希望者学力評価テスト（仮称）」等から求められることは、「知識・技能」の育成だけでなく、生徒のより高い「思考力・判断力・表現力」等を育成することである。

本校では、平成29年度入学生より授業時間を週あたり1時間増やし、教育課程を大きく変更することで、「思考力・判断力・表現力」等の育成を行う。具体的には、次の1～3のとおりである。

- 1 3年で行っていた「情報と科学」（2単位）を1年に移行し、探究活動やプレゼンテーションの基礎力を早期の段階で養成する。
- 2 2年文型で「人文科学探究Ⅰ～Ⅳ」を新規に開講、アクティブラーニングの視点を取り入れ探究活動を実施する。  
2年理型で「SS化学」を開講、先進化学講座や観察・実験を中心とした探究活動を実施する。
- 3 3年の文型では国語・地歴・英語、3年の文理型・理型では数学・理科・英語の授業時数を増やし、受験力を高める。

進路指導部、学年、教科、委員会が連携し、授業研究や校内外の研修会等をとおして、アクティブラーニングの視点を取り入れた授業改善や授業力の向上を目指していく。また、他の埼玉県の事業（学校間ネットワーク、未来「学び」プロジェクト等）やSSHの取組とも関連付けながら、社会に貢献できる高い志や使命感を育成し、将来の日本をリードする骨太で品格ある女性リーダーになるための資質を培っていく。

#### 5) その他

本年度取り組んだその他の事業

- ・地域の福祉施設や保育所等におけるボランティア活動に、160名以上の生徒が参加
- ・熊谷市立富士見中学校において、学習支援活動を延べ20名の生徒が実施
- ・熊谷東小学校において、ラクロス部・水泳部の生徒延べ130名以上が学習支援や部活動支援を実施
- ・北部5校（熊谷・熊谷女子・熊谷西・本庄・秩父高校）の連携により、東京大学で講師による講義、研究室訪問、東大生との懇談会を実施、32名の生徒が参加
- ・教育力向上研修会、学びプロジェクト研究公開授業、北部5校英語研究部を10回実施

#### 4 参考資料

なし